エコアクション21

環境経営レポート

活 動 期 間 ： 令 和 ７ 年 ４ 月 ～ 令 和 ８ 年 ３ 月

発 行 日 ： 令 和 ８ 年 ５ 月 28 日

信 頼 と 共 感 の 和 を 創 る

日伸テクノ株式会社

目　次

１．　組織の概要　・・・１

２．　実施体制　・・・２

３．　環境経営方針　・・・３

４．　環境への負荷実績及び次年度の取組　・・・４

５．　中期環境経営目標　・・・５

６．　環境経営計画と取組状況評価　・・・６

７．　日伸テクノの取組例　・・・７

８．　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価　・・・８

９．　代表者による全体の評価と見直しの結果　・・・９

１．　組織の概要

事業者名　　日伸テクノ株式会社

代表者名　　代表取締役　土居　一成

所在地　　本　　社 〒870-1152　大分県大分市上宗方２２７番地

田原倉庫 〒870-1154　大分県大分市田原一本木８４５番地

設立年月日　　昭和５２年４月

事業内容　　設備工事業　水道施設工事業

売上高　　1,177百万円 （令和7年度）

従業員数　　33名

担当者連絡先　　担当　　総務課

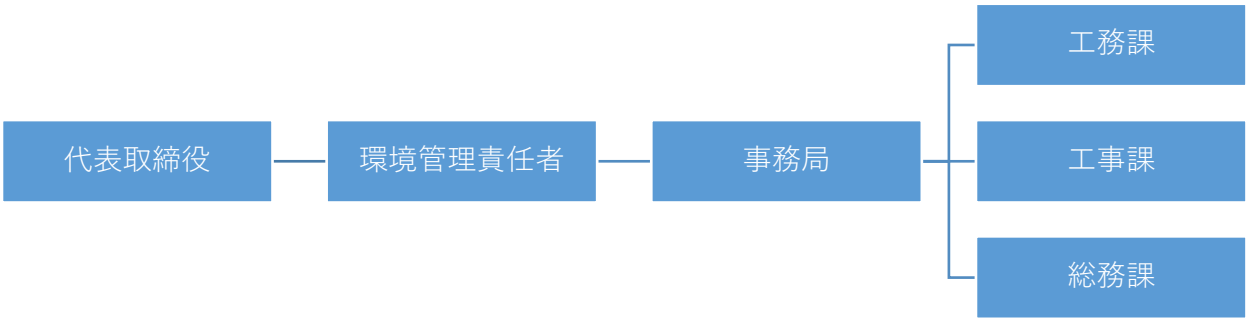
ＴＥＬ　097-541-7770　　ＦＡＸ　097-542-3093

事業年度　　８月～７月

環境年度　　４月～３月

認証範囲　　全対象事業所、全対象活動

2．　実施体制



代表取締役	環境経営及びEA21環境マネジメントシステムに関する統括責任者
	環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する
	環境経営方針を定める
	環境経営目標及び環境経営計画、実施体制の承認する
	代表者による全体の評価と見直しを実施する
	環境経営レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者
	環境経営システムの運用、管理状況を代表取締役に報告する
	各部門の環境経営目標、環境経営計画、実施体制の確認と全体調整
	環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認
	問題点の是正及び予防処置の承認
	環境経営レポートの確認
事務局	環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局
	環境関連法規等のとりまとめ表の遵守状況チェック
	環境経営活動に関する実績のとりまとめ
	環境経営レポート作成
全従業員	環境経営方針・目標・計画などの理解と自らの役割を自覚する
	自主的、積極的に環境経営活動に参加する

3．　環境経営方針

日伸テクノ株式会社は、建設事業者として環境問題への自主的な取り組みと、
その継続的改善が重要であると考え事業活動を通じて環境負荷の低減と、
環境保全への取り組みを積極的に進めてまいります。

1．具体的に次の事に取組みます。

①電力・化石燃料などの消費に伴う二酸化炭素排出量を削減する。

②使用原材料の省資源、廃棄物の３Ｒ(減量、再使用、再生利用)を推進する。

③水資源を大切にするため節水に努める。

④環境に配慮した施工方法の推進

⑤事務所周辺の清掃活動の推進

これらについて環境経営目標、環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、
継続的な改善に努めます。

2．環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。

3．この環境経営方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

4．環境経営活動を継続的に改善していきます。

制定日：平成29年4月　1日

改訂日：令和　5年7月　1日

日伸テクノ株式会社

代表取締役　土居　一成

4．　環境への負荷実績及び次年度の取組

項　目	直近3ヶ年 平　均	令和7年度			
	基準年度	実績	目標	達成度	評価
			△0.5%		
CO2排出量	63,054 kg-CO2	85,292 kg-CO2	62,739 kg-CO2	74%	B
電　力	18,164 kWh	21,227 kWh	18,073 kWh	85%	B
ガソリン	17,479 L	22,632 L	17,391 L	77%	B
軽　油	4,889 L	8,302 L	4,865 L	59%	C
灯　油	61.33 L	0.00 L	61.03 L	100%	A
一般廃棄物	334 kg	257 kg	333 kg	100%	A
建設産業廃棄物 再資源化率	68.04 %	56.90 %	67.70 %	100%	A
環境に配慮した 施工体制	作業効率の向上、安全教育、定期整備・日常点検の実施等			100%	A
水使用量	130 ㎥	159 ㎥	130 ㎥	81%	B
社会貢献への参加	きれいにしようえおおいた(清掃活動)毎月１回			100%	A

電力のCO2調整後排出係数は、シン・エナジー㈱　令和3年の0.534kg-CO2/kWhを使用。

評価基準(A　90%以上・B　60%～89%・C　60%未満)

達成状況及び次年度の取組	
CO２排出量	改善できる点がないか協議する。
電　力	書庫を事務所へリフォームしたことにより使用頻度が増え増加している。
ガソリン	現場使用もあり増加した。車輌の点検・整備を徹底していく。
軽　油	ダンプ使用などの要因もあり増加した。
灯　油	次年度も達成出来るように社員全員が意識して取り組む。
一般廃棄物	引続き分別に意識して取り組む。
建設産業廃棄物	次年度も資材ロスの削減・分別に意識して取り組む。
環境に配慮した 施工体制	作業効率の向上、安全教育、工具など定期整備・日常点検の実施する。
水使用量	次年度も節水に社員全員で意識して取り組む。
社会貢献への参加	引続き月１回の清掃活動に参加していく。

5．　中期環境経営目標

項　目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	**直近3ヶ年平　均**	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	実績	実績	実績	実績	目標	目標	目標
				基準年度	△0.5%	△1.0%	△1.5%
CO2排出量	54,703 kg-CO2	58,400 kg-CO2	76,060 kg-CO2	**63,054 kg-CO2**	62,739 kg-CO2	62,424 kg-CO2	62,109 kg-CO2
電力	18,876 kWh	17,305 kWh	18,310 kWh	**18,164 kWh**	18,073 kWh	17,982 kWh	17,891 kWh
ガソリン	14,099 L	17,196 L	21,141 L	**17,479 L**	17,391 L	17,304 L	17,217 L
軽油	4,417 L	3,577 L	6,673 L	**4,889 L**	4,865 L	4,840 L	4,816 L
灯油	184.00 L	0.00 L	0.00 L	**61.33 L**	61.03 L	60.72 L	60.41 L
一般廃棄物	367 kg	329 kg	307 kg	**334 kg**	333 kg	331 kg	329 kg
建設産業廃棄物再資源化率	85.96 %	69.15 %	49.02 %	**68.04 %**	67.70 %	67.36 %	67.02 %
環境に配慮した施工体制	作業効率の向上、安全教育、定期整備・日常点検の実施等						
水使用量	133 ㎥	125 ㎥	133 ㎥	**130 ㎥**	130 ㎥	129 ㎥	128 ㎥
社会貢献への参加	きれいにしようえおおいた（清掃活動）毎月１回						

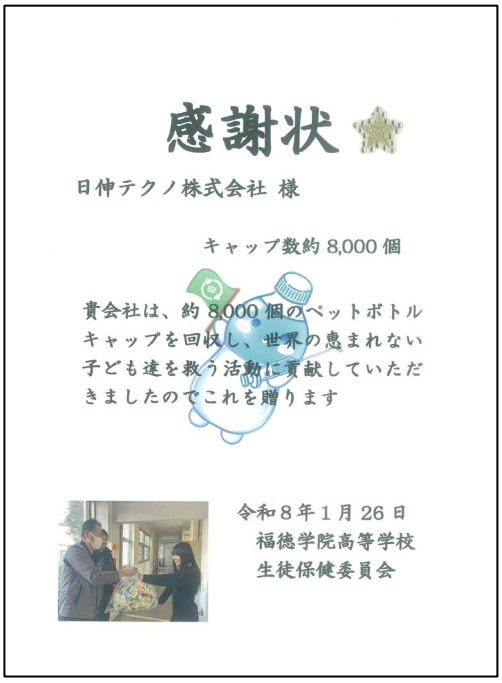
6．　環境経営計画と取組状況評価

目標課題	具体的な行動・活動	頻度	実施状況評価
電力消費量削減	1．冷暖房設定温度の厳守。	毎日	○
	2．OA機器の退社時電源OFFする	毎日	○
	3．クールビズ・ウォームビズ運動	毎日	○
	4．不必要箇所の照明を消す（日中は総務もチェック）	毎日	○
ガソリン使用量削減	1．加速・減速の少ない運転をする	毎日	○
	2．車のエアコンの使用は適切にする	毎日	○
	3．ムダなアイドリングをしない	毎日	○
	4．定期的に車の点検・整備をする(点検表チェック)	毎週月曜	○
軽油消費量削減	1．加速・減速の少ない運転をする	毎日	○
	2．車のエアコンの使用は適切にする	毎日	○
	3．ムダなアイドリングをしない	毎日	○
	4．定期的に車の点検・整備をする(点検表チェック)	毎週月曜	○
灯油消費量削減	1．ウォームビズを推進しストーブの使用を控える	冬季	○
一般廃棄物排出量削減	1．ゴミの分別を徹底する（当番制）	毎日	○
	2．ミスコピーの防止 （コピー機の横にA4、A3それぞれの裏紙用ボックス設置）	毎日	○
	3．裏紙を使用する（コピー機の設定変更 例：B5トレイ→A4裏紙トレイへ、B4トレイ→A3裏紙トレイへ）	毎日	○
建設産業廃棄物 排出量削減	1．産廃マニフェストによる適正管理	月1	○
	2．再資源化率の向上	毎日	○
環境に配慮した施工体制	1．安全教育の実施	月1	○
	2．　定期的に工具の点検・整備をする	月1	○
水使用量削減	1．洗い物はまとめてする	毎日	○
	2．洗い物は洗い桶を使用する	毎日	○
	3．トイレの大・小レバーを使い分ける	毎日	○
社会貢献への参加	1．きれいにしようえおおいた清掃活動の継続	月1	○
	2．エコキャップ運動 （ペットボトルキャップを収集し、団体へ送る）	年2	○

○・・・出来ている　　△・・・不十分　　×・・・分析する

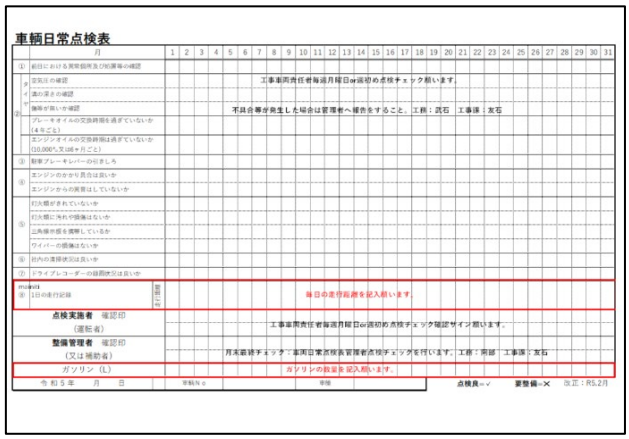
7．　日伸テクノの取組例

日伸テクノのSDGs宣言
持続可能な社会の実現に向け積極的な取組みを行います。



エコキャップの贈呈
福徳学院高等学校さまへ贈呈いたしました。

寄付型自動販売機
ドリンク1本につき2円が「盲導犬導入基金」に寄付されます。



車輌日常点検表
毎週月曜日に清掃・点検を行い安全に努める。
燃費の集計をして、乗換の判断資料とした。

緊急事態に備える訓練の実施
タイヤの組み換えとバッテリーが上がった際の対処法

8．　環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無

1．環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

令和8年5月26日
環境管理責任者

法規制等の名称	適用内容・遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	・収集運搬業者及び処分業者との委託契約締結 ・委託契約書の保管 ・産廃管理票状況交付発行報告(大分市へ報告)	○
建設リサイクル法	・発生抑制(施工方法、資材選択) ・再利用、再生利用、再資源化努力 ・再生資源利用計画書、実施書の作成(公共工事) ・再生資源利用促進計画書、実施書の作成(公共工事)	○
排出ガス対策型建設機械普及促進規程	・排出ガス対策型であることの確認	○
騒音規制法	・特定建設業の実施の届出(公共工事)	○
振動規制法	・特定建設業の実施の届出(公共工事)	○
地球温暖化対策の推進に関する法律(温対法)	・国、地方自治体、事業者、国民が一体となり温室効果ガスの排出抑制に努め国、地方公共団体の施策に協力すること。	○
フロン排出抑制法	・自社のエアコンの冷媒配管からガスが漏れていないか適時点検・点検簿に記入をする。	○
家電リサイクル法	・廃棄時の適正処理(発生時のみ) ・リサイクル料支払い(発生時のみ)	該当なし
自動車リサイクル法	・社用車の適正な廃棄(発生時のみ) ・リサイクル料支払い(発生時のみ)	該当なし

2．違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

9．　代表者による全体の評価と見直しの結果

会　　社　　名　　日伸テクノ株式会社
見直し実施日　　令和8年5月26日
出　　席　　者　　代表者　　土居　一成
環境管理責任者
事務局

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント
1．環境関連法規等の遵守状況確認結果	良好	良好
2．環境経営目標の達成状況	概ね良好、軽油や電気量の上昇したことは理由付けができている。	未達成の項目について数値が増加した主要因が理解できているのでほぼ良。
3．環境経営活動計画の実施状況	産廃BOXの中にまだ分別できるものが多く見受けられる。改善の余地は残っている。	概ね取組めているが、会社の敷地内アイドリング禁止を会議の席でも訴えているが守れない社員が数名いる。
4．問題点の是正、予防の状況	事務局以外の社員の意識が上がっていないように見受けられる	事務局以外の社員意識の向上が乏しい、マンネリ化になっているのか辛抱強く向き合わなければならない。
5．外部からの苦情の有無及び対応結果	特になし	なし
6．環境上の緊急事態の訓練結果及び対応結果	参加した社員の多くが講師の説明を聴いてタイヤチェーンの巻き方を学んでいた。使用頻度は少ないが継続していただきたい。	参加者は真摯に取り組んでいる。講師、担当者含め結果は良好
7．その他	今年も猛暑になる見込みである。各自熱中症対策と節電とエコに取り組んでいただきたい。	混載BOX内の分別徹底と集積(捨て方)方法を具体的に指示している。数値の動向を確認したい。

見直しの必要性判断と代表者の指示

①環境経営方針	変更なし、継続
②環境経営目標	変更なし、継続
③環境経営計画	変更なし、継続
⑤実施体制の見直し	変更なし、継続
その他の指示	意識に個人差があるのは否めない。改めてなぜEA21を取り組んでいるのか会議を通じて説明する。全社員の意識向上を期待する。